

第2回 日本銀行金沢支店跡地あり方検討懇話会

求められる機能の基本的な方向性に応じた先進事例

令和5年10月19日

独立行政法人都市再生機構
東日本都市再生本部

UR都市機構について

■ 組織の沿革



■ 現在の主な3つの業務

都市再生



大手町地区周辺（東京都千代田区）



国際競争力と都市の魅力を高める都市再生の推進



地域経済の活性化やコンパクトシティの実現



防災性向上による安全・安心なまちづくり

賃貸住宅



ニューウェル赤羽台（東京都北区）



多様な世代が安心して住み続けられる環境整備



持続可能で活力ある地域・まちづくりの推進



賃貸住宅ストックの価値向上

災害復興



高田地区（岩手県陸前高田市）

東日本大震災 復興フォト&スケッチ展2018応募作品「家路」

阪神・淡路大震災以降に培ってきた復旧・復興の経験を生かし、東日本大震災や熊本地震等の大規模災害からの復旧・復興を全力で支援

求められる機能の基本的な方向性に応じた先進事例

※以降のページについて、写真の版権の都合上、複写・頒布についてはご配慮ください

2

横浜市
北仲通南地区

池袋駅周辺地区

八戸市
中心市街地地区

盛岡市
中心市街地(河南)地区

(1) 来街の動機となる新たな魅力やにぎわいを創出し、
都市の品格・風格を感じることができる機能

魅力・品格



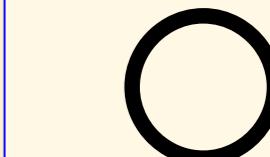
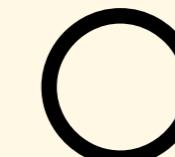
池袋駅周辺地区

八戸市
中心市街地地区

盛岡市
中心市街地(河南)地区

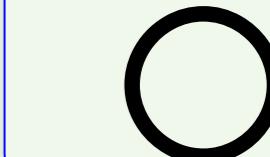
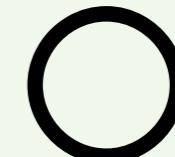
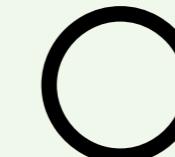
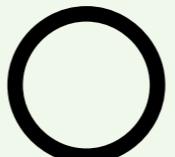
(2) まち全体への新たな人の流れを生み出す環境を創出し、
人々の回遊性を向上させる機能

回遊・交流



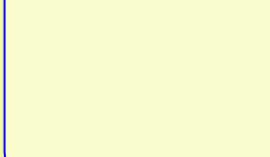
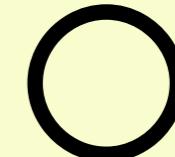
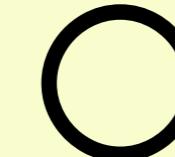
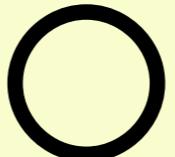
(3) 多様な人々の多様な交流や使い方が共存する空間を形成し、
快適に滞在できる機能

多様・滞留



(4) 市民の日常的な文化活動を促進し、市民・観光客が
文化に触れて楽しむことができる機能

文化・活動

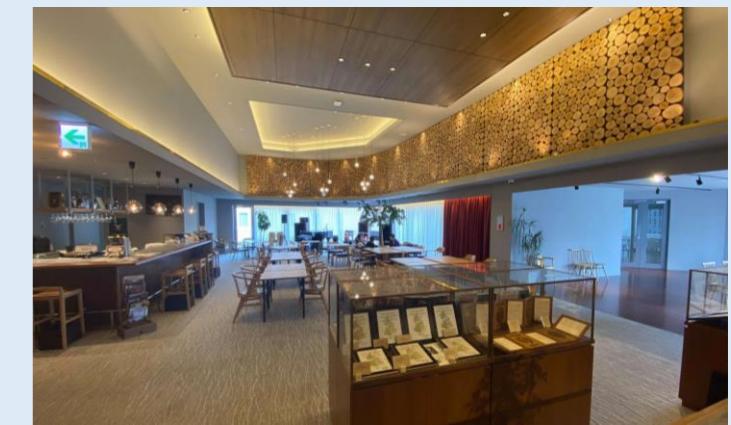


横浜市北仲通南地区

池袋駅周辺地区

八戸市中心市街地地区

盛岡市中心市街地(河南)地区



YCCCヨコハマ創造都市センター
横浜市役所アトリウム

池袋西口公園(グローバルリング)等
南池袋公園、IKE SUNPARK

八戸まちなか広場 マチニワ
八戸ポータルミュージアム はっち

盛岡バスセンター

神奈川県横浜市

東京都豊島区

青森県八戸市

岩手県盛岡市

人口：377万人(R5.9末)

人口：29万人(R5. 9末)

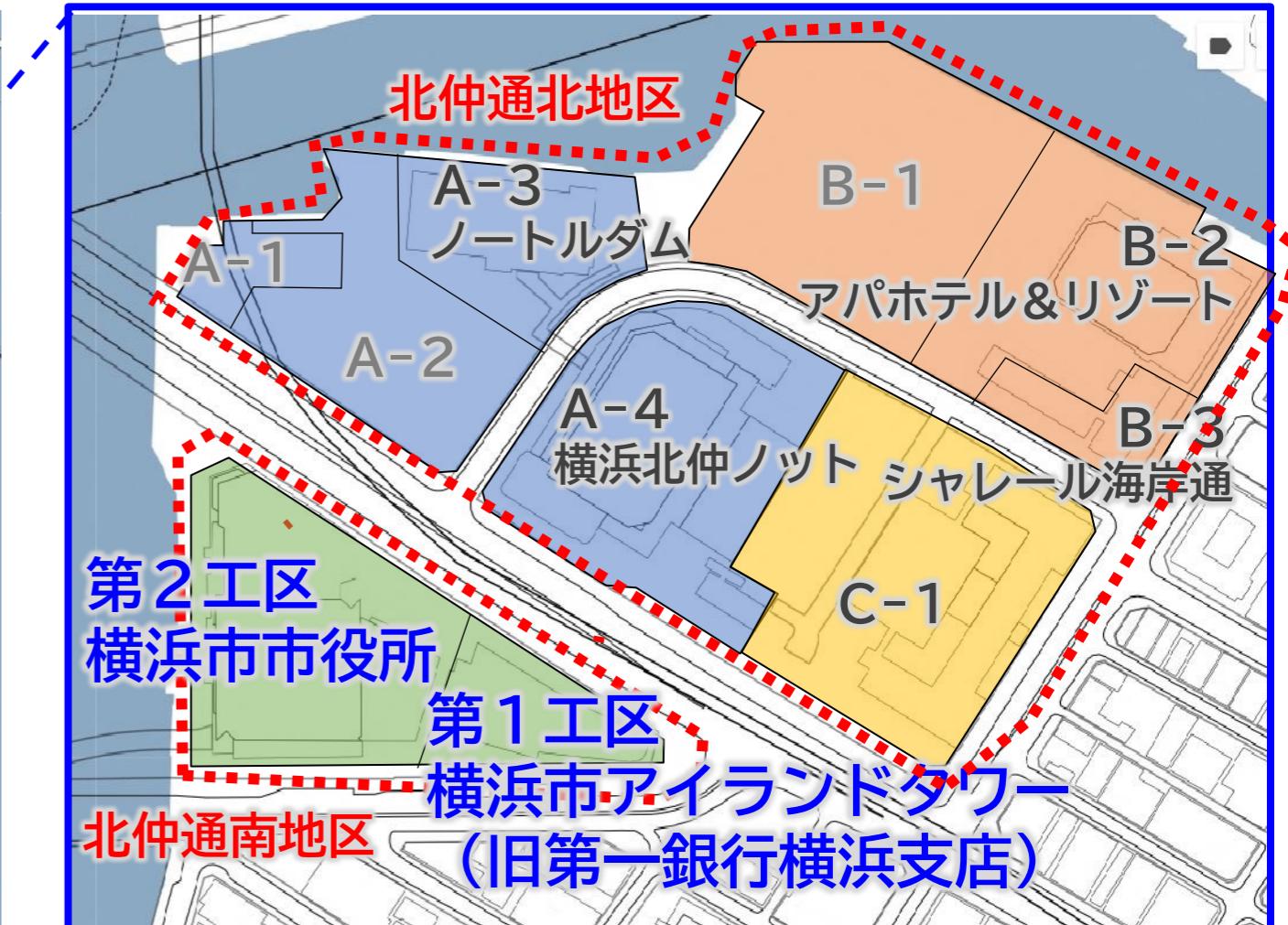
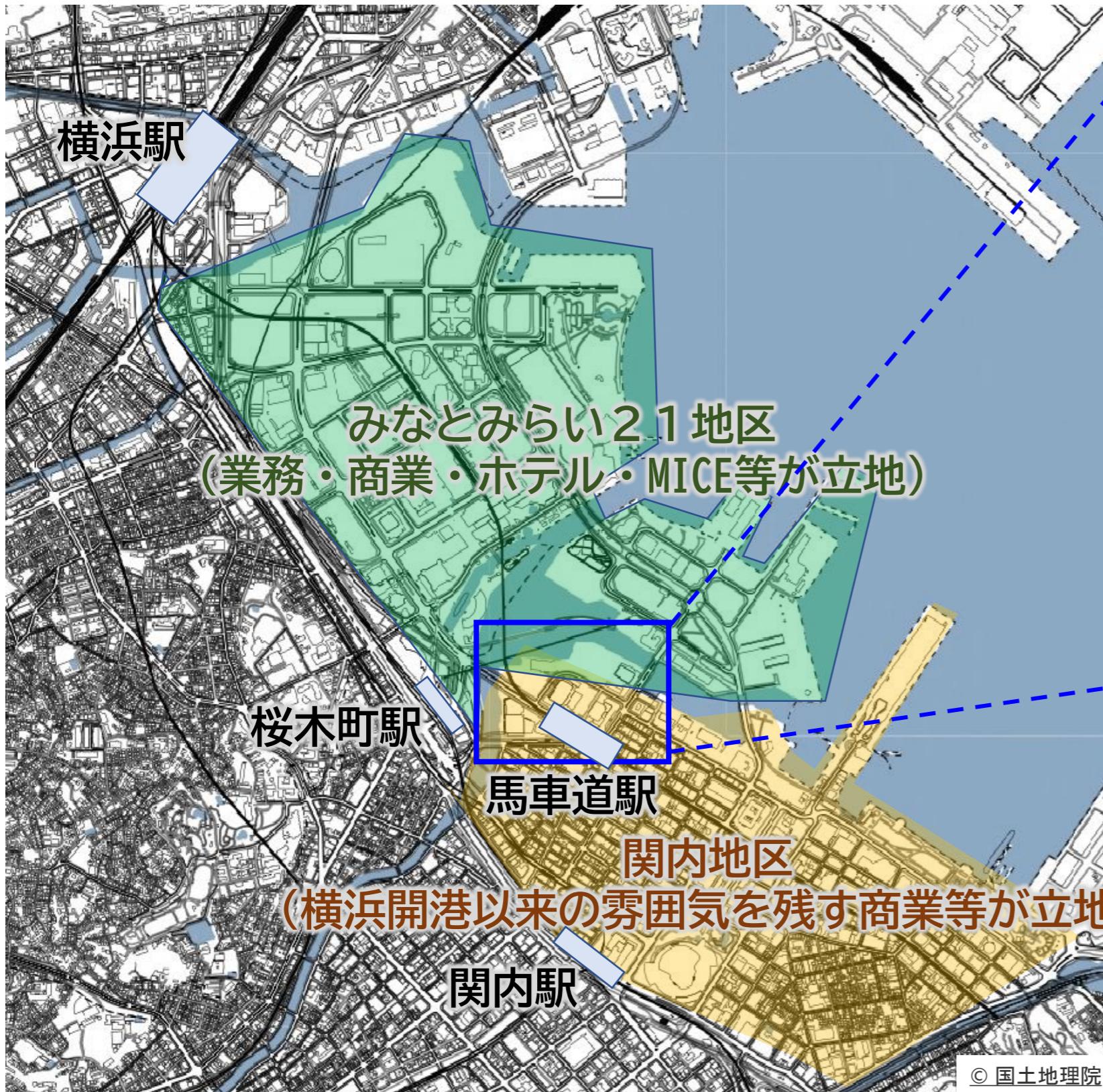
人口：22万人(R5. 9末)

人口：28万人(R5. 9末)

事例① 横浜市北仲通南地区

■横浜市北仲通南地区

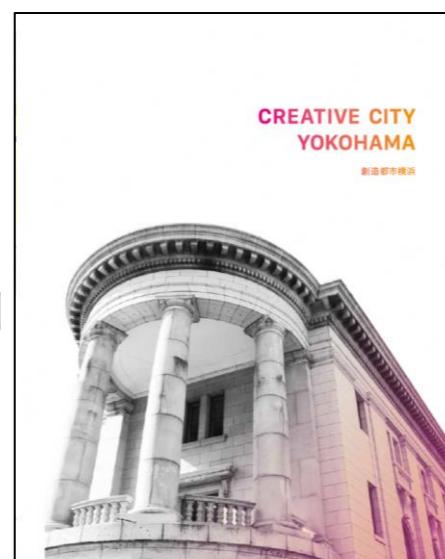
みなとみらい21地区と関内地区に隣接し、横浜市役所移転をはじめ都市再生の進む地区。横浜市の進める『創造都市横浜』の基本方針の1つである「創造界隈の展開」に基づき、アートスペースが開設。創造都市施策の発祥の地とされる。



『創造都市横浜』
CREATIVE CITY YOKOHAMA

【基本方針】

- 1 多様な主体がリードする創造界隈の展開
- 2 アーティスト・クリエーターの育成・支援と次世代育成
- 3 創造的産業の振興
- 4 まちにひろがるトリエンナーレの実現
- 5 創造都市横浜の国内外への発信と交流



出典：横浜市HP

事例① 横浜市北仲通南地区

■YCCヨコハマ創造都市センター（横浜アイランドタワー・旧第一銀行横浜支店）

『創造都市横浜』の中心的役割を担う施設で、創造界隈の拠点の1つ。

デザイナーやアーティストなどクリエイティブ分野の人々だけでなく、学生、主婦、子供、年輩の方、地元企業や起業家など、さまざまな人々に開かれた施設。



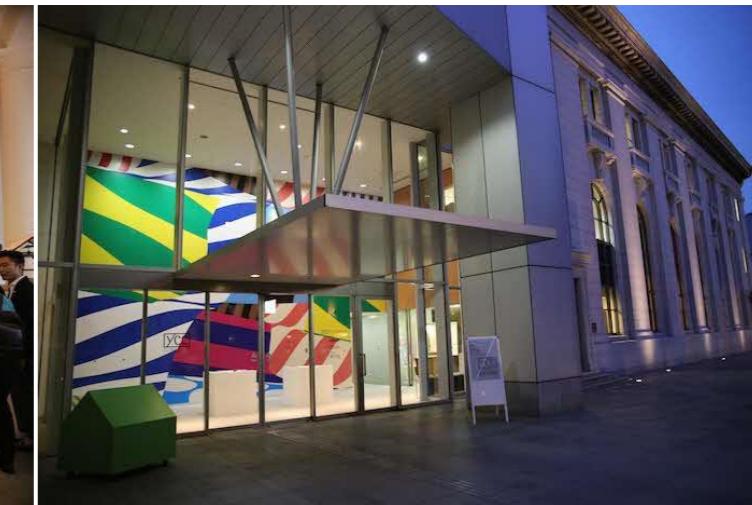
～歴史と品格を
感じる文化拠点～

魅力・品格



～市民・観光客等が身近に
アートに触れられる空間～

文化・活動



施設概要	開館	H27.4	敷地面積	3,840m ²	整備主体	横浜市・UR都市機構
用 途	複合施設	延床面積	1,934m ²	管理運営	特定非営利活動法人YCC	

※YCCヨコハマ創造都市センターとしての活用は平成31年3月に終了。現在は次期活用に向け検討中。

出典：横浜市HP、「創造都市横浜」HP

事例① 横浜市北仲通南地区

■横浜市役所アトリウム

市庁舎を象徴するアトリウムは、地下鉄駅と直結し、誰もが気軽に集い、親しみ、憩えるスペースとして、様々なイベントやセレモニーの場として活用されている。



～市民に開かれた
親しみのある交流の場～

多様・滞留



施設概要	開館	R2.6	敷地面積	13,155m ²	整備主体	横浜市
	用途	市庁舎	延床面積	143,449m ² (うち、屋内広場545m ²)	管理運営	横浜市

事例② 池袋駅周辺地区

■池袋駅周辺地区

「消滅可能性都市」との指摘を契機に「持続発展する都市」への転換を目指す。元々まちに根付いていた多様な文化をベースとして、「国際アート・カルチャー都市」をコンセプトに、あらゆる場所でアート・カルチャーを体感できる場の形成を図る。

～アート・カルチャーを体感できる場の形成を目指し、4つの公園整備や民間都市開発等を推進～

国際アート・カルチャー都市

持続発展都市

人口減少社会にあって、持続して発展を続けるまち

まち全体が舞台の誰もが主役になれる 劇場都市

生涯幸せに暮らせる

福祉健康増進都市

学ばせたい 通わせたい

教育都市としま

文化創造都市

文化と品格を誇れる価値あるまち

未来の子どもたちに豊かな文化を創造し続ける地域社会を引き継ぎ、地球環境にやさしい、暮らしと経済活動の安全で快適なステージをつくりあげる都市再生に取り組みます。

文化

産業・観光

環境

都市再生

コミュニティ

防災・治安

福祉

健康

子育て・教育



出典：豊島区「国際アート・カルチャー都市構想」

© 国土地理院

□：池袋駅周辺地域の特定都市再生緊急整備地域指定エリア

出典：豊島区

事例② 池袋駅周辺地区

■劇場都市を形成する多様なホール

多くの人が集まる場として、様々な形態のホールを公共及び民間が整備。

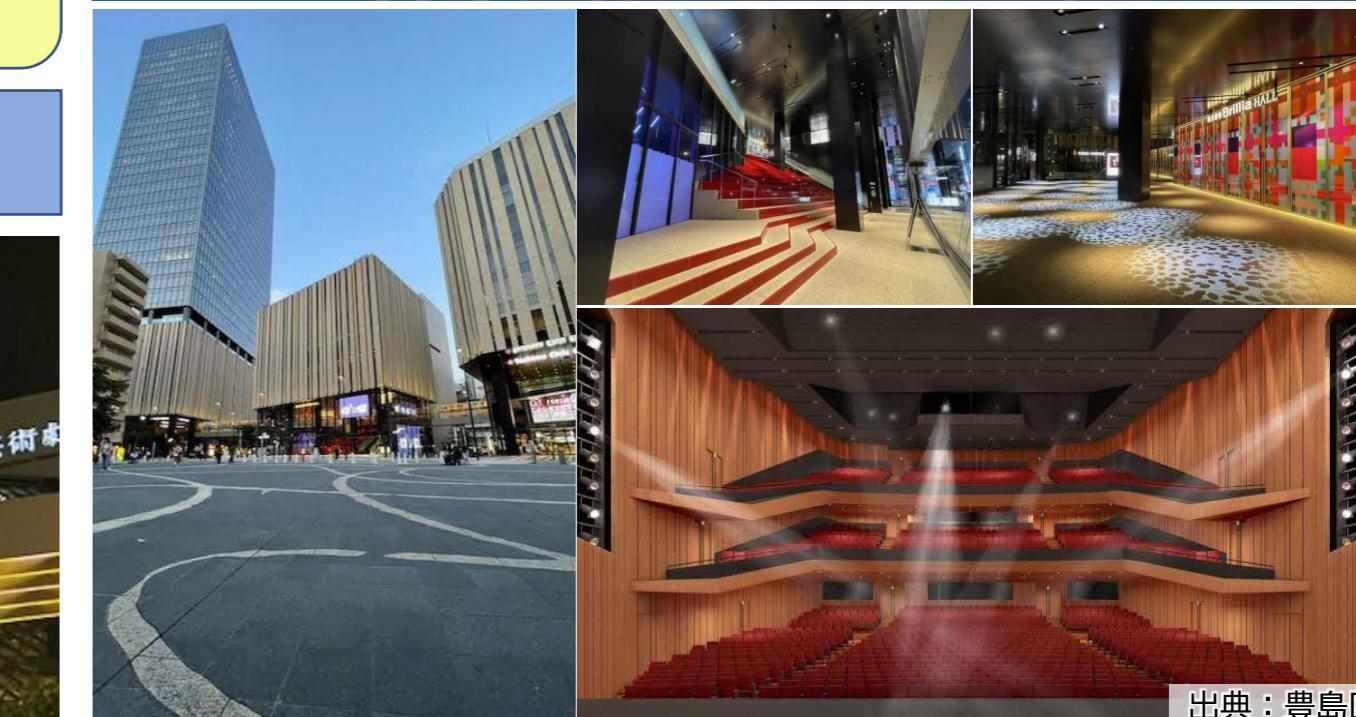
～「国際アート・カルチャー都市」
実現の核となる公園・野外ホール～

文化・活動

西口公園野外劇場グローバルリングシアター



豊島区立芸術文化劇場
(東京建物 Brillia HALL)



出典：豊島区

としまセンタースクエア



出典：豊島区

施設概要	開館	座席数	敷地面積	延床面積	整備主体	管理運営	備考
グローバルリングシアター	R1.11	500席	3,123m ²	633m ²	豊島区	豊島区、としま未来財文化団	可動席により観客席を構成（平時は公園）
豊島区立 芸術文化劇場	R2.7	1300席	3,619m ²	68,654m ²	豊島区+民間	としま未来文化財団	Hareza池袋には、映画館・ライブ劇場他
としまセンタースクエア	H27.5	300席	8,324m ²	450m ²	豊島区+民間	豊島区	防災拠点としても機能

事例② 池袋駅周辺地区

■池袋駅周辺における公共空間の整備

「国際アート・カルチャー都市」の実現戦略として、まちを舞台に見立て、人が主役の空間形成を図る。そのため、公園や道路等を居心地がよく、使われるものへと変えていく。

南池袋公園

～多様な人々の滞在・交流を
促す「サードプレイス」～

回遊・交流

多様・滞留

IKE・SUN PARK (としまみどりの防災公園)

～公園から街が変わる
新しい力タチの公園～

回遊・交流

多様・滞留



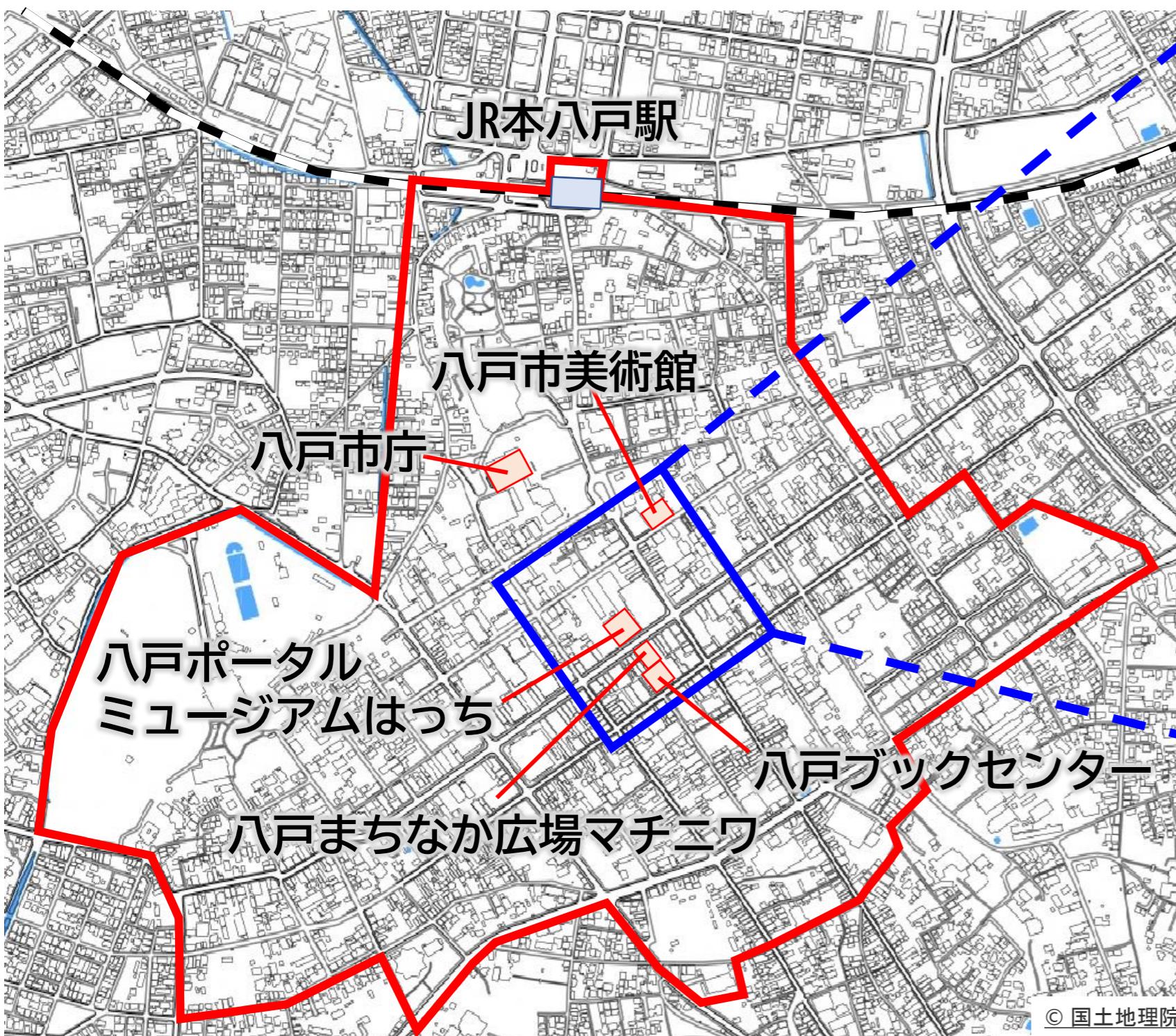
施設概要	開園	H28. 4	整備主体	豊島区
	敷地面積	7,812m ²	管理運営	南池袋公園をよくする会

施設概要	開園	R2. 12	整備主体	UR都市機構(整備後、豊島区に引渡し)
	敷地面積	17,000m ²	管理運営	民間(指定管理者)

事例③ 八戸市中心市街地地区

■八戸市中心市街地地区

八戸市は、全国でも有数の規模の朝市が開催され、毎週数万人の人出を誇るとされる。中心市街地は、JR本八戸駅の南約500mに位置し、かつて飲食店街等がメインのエリア。徒歩圏内に公共施設を集積し、安心して歩ける空間を整備することで、人の回遊を促進。



■ : 第3期中心市街地活性化基本計画区域



八戸ポータル
ミュージアムはっち



八戸まちなか広場
マチニワ

事例③ 八戸市中心市街地地区

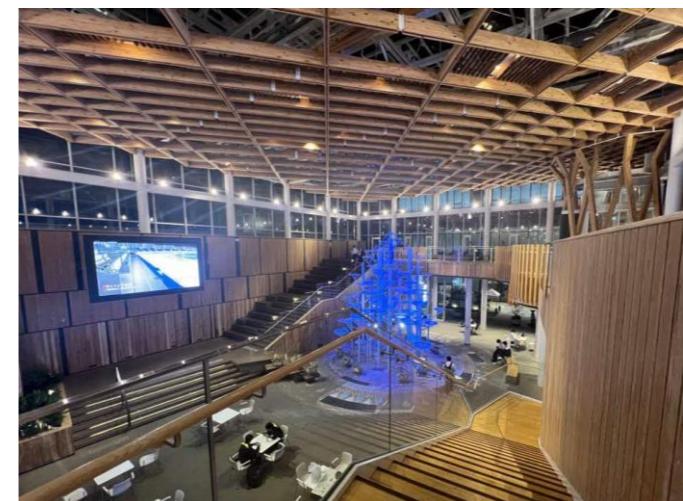
■八戸まちなか広場 マチニワ

まちなかの「庭」をコンセプトに、光や緑といった自然を感じられる透明感あふれる空間。「誰でも気軽に立ち寄れる居場所」「人が集いコミュニケーションが生まれる場」を創出。



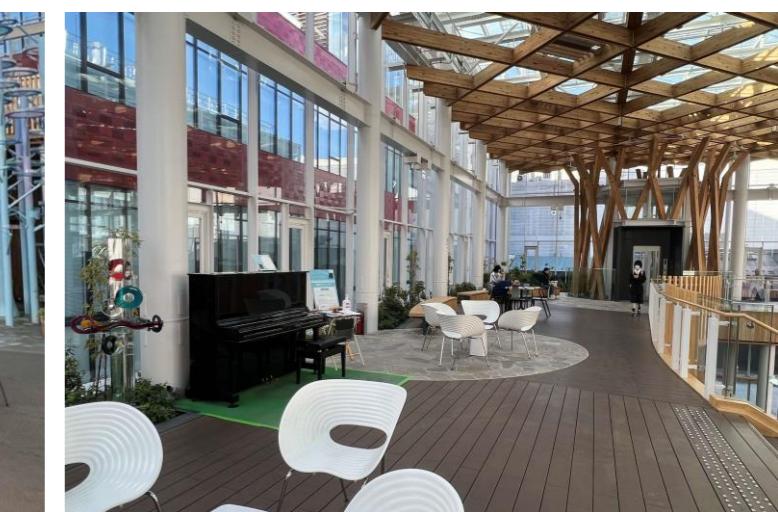
～観光・交通情報の発信
により回遊性向上～

回遊・交流



～市民等の居場所としての
全天候型の屋内広場～

多様・滞留



施設概要	開館	H30.7	敷地面積	1,090m ²	整備主体	八戸市
	用途	屋内広場	延床面積	1,249m ² (うち、屋内広場455m ²)	管理運営	八戸市

事例③ 八戸市中心市街地地区

■八戸ポータルミュージアム はっち

八戸の魅力を凝縮して展示する観光の玄関口（ポータル）であると共に、アーティストや市民の活動の場としても利用されている文化観光交流施設。



～八戸の玄関口として地域の
魅力を発信する観光展示～

魅力・品格



～市民活動の発表スペース
ものづくりを体験するスタジオ～

文化・活動

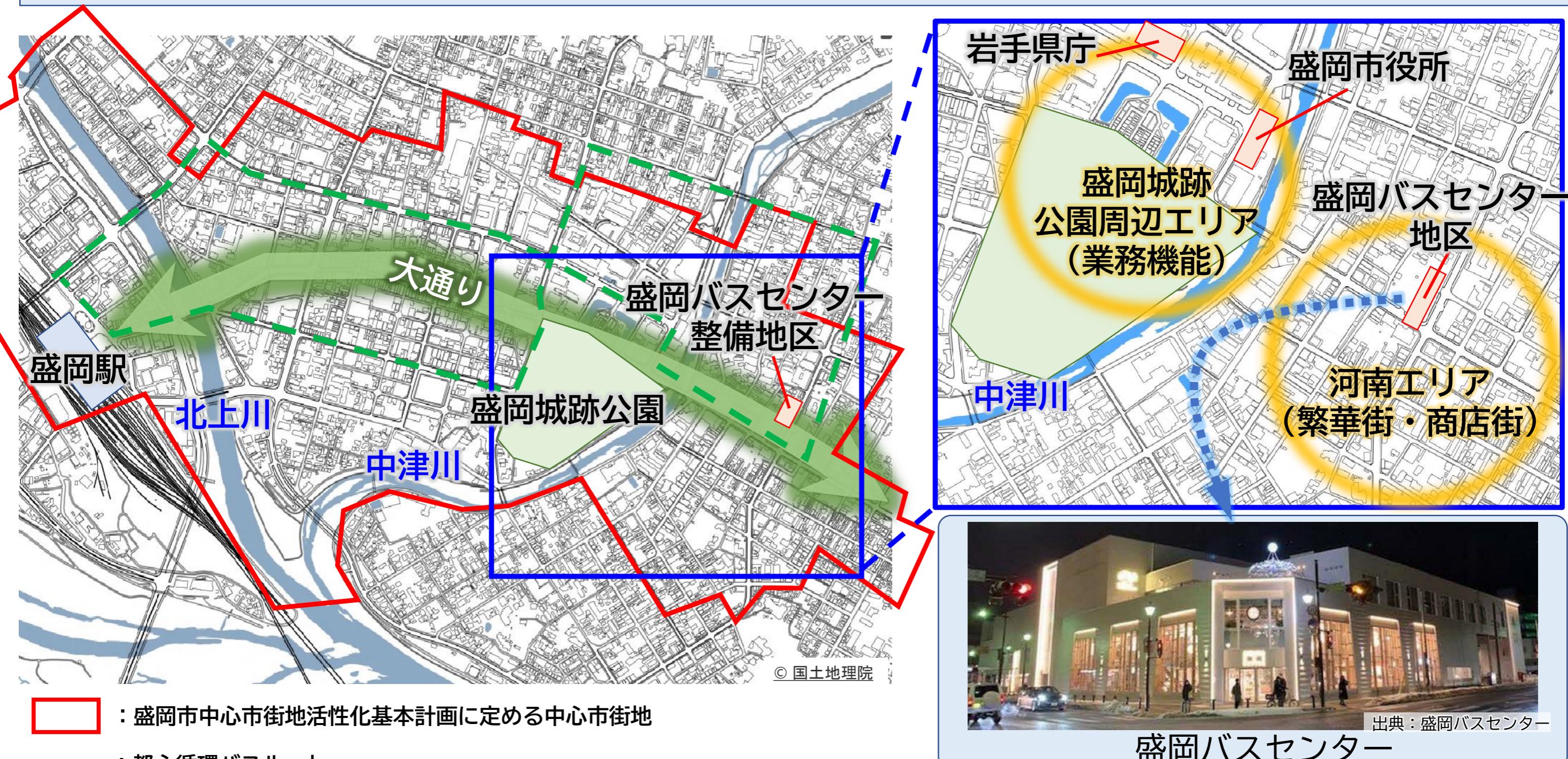


施設概要	開館	H23.2	敷地面積	3,387m ²	整備主体	八戸市
	用途	複合施設	延床面積	6,468m ² (うち、屋内広場179m ²)	管理運営	八戸市

事例④ 盛岡市中心市街地(河南)地区

■盛岡市中心市街地(河南)地区

JR盛岡駅から2km程度離れた、城下町としての長い歴史と伝統を有する地区であり、古くからの商店街が連なる繁華街。中津川を挟んで対岸には行政機関（県庁、市役所等）が集積し、県都の中核を形成。



施設概要	開館	R4.10	敷地面積	3,132m ²	整備主体	バスターミナル：盛岡市 にぎわい施設：SPC
	用途	複合施設	延床面積	5,422m ²	管理運営	

事例④ 盛岡市中心市街地(河南)地区

■盛岡バスセンター

古くより親しまれたバスセンターを新たな複合施設として公民連携により再整備。快適・便利なバス待ち空間に加え、多様な人々が楽しめる賑わい施設を併設し、回遊の起点・交流の場となる。人や地域の魅力を繋ぐ拠点として、2023年度「グッドデザイン賞」を受賞。

～人々が快適・便利・多目的に
過ごせるバス待ち空間～

多様・滞留

～地域の魅力を発信し、地域内外の人
が回遊・交流するクロスポイント～

回遊・交流



出典：GOOD DESIGN AWARD



出典：盛岡バスセンター

出典：盛岡バスセンター